

研究の概要

20 21 年 10 月 18 日

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名：	初期卵割におけるモザイクの発生要因の考察
代表研究者 (所属・氏名)：	IVFなんばクリニック 生殖技術部門・山本 桜子
研究の目的：	Preimplantation genetic testing for Aneuploidy (PGT-A) は反復不成功/流産患者の妊娠率・出産率改善を目的に臨床研究が行われています。胚盤胞から5-10個程の細胞を用いて解析を行いますが、一部の細胞間で染色体の構成が異なるモザイク胚が見られることがあります。これは体細胞分裂時の細胞質や染色体の異常分離によると考えられていますが、その発生機序は不明な部分が多いです。
調査データ該当期間：	20 20 年 4 月 1 日 ~ 20 21 年 3 月 31 日
研究の方法 (使用する試料/情報等)：	2020年4月~2021年3月に、同意を得て一般体外受精または顕微授精施行後、PGT-Aを行った30周期84個の胚盤胞を対象としました。胚観察はタイムラプスインキュベーター(CCM-iBIS, ASTEC) を用いて、15分間隔で撮影を行いました。検討1では解析結果を正倍数性と異数性とモザイクに分けて前核融合後から2cell(t2C)/3cell(t3C)/4cell(t4C)/8cell(t8C)の到達時間を比べ、検討2では第一・第二卵割共に正常卵割した胚盤胞の到達時間及び、第二卵割に要した時間(t2C -t4C)を比べました。
個人情報の取り扱い：	研究に用いる患者個人情報の保護、プライバシーの尊重に努力し最大限の注意を払います。患者試料を分析する際には、連結可能匿名化を行います。また試料の分析から得られる情報についても、厳重な管理とセキュリティ体制の整備を徹底し、連結可能匿名化を行い、符号のみで取扱いますので、個人情報は伝わりません。
本研究の資金源 (利益相反)：	利益相反状態はありません
お問い合わせ先 ：代表電話 ：担当者(部門・氏名)	IVFなんばクリニック 06-6534-8824 生殖技術部門・山本 桜子
備考	